

📷 ボランティアによる緑地保全活動が認められました

8月26日(日)、あさか環境市民会議による根岸台里山再生林での活動が「第4回 関東・水と緑のネットワーク拠点百選」に選ばれ、選定証の授与式が行われました。

あさか環境市民会議は、次世代によりよい環境を残すために市と協力・連携しながら活動している市民団体で、宮戸特別緑地保全地区、岡特別緑地保全地区をはじめ、朝霞市指定天然記念物湧水代官水、根岸台里山再生林など、多くの湧水地や緑地の保全・整備にご尽力いただいています。市としても今回の認定を機に、市民との協働を一層緊密にして朝霞の自然をアピールしていきたいと考えていますので、これまで緑に余り関心のなかった皆さんにも興味を持ってもらえれば幸いです。



☎/都市計画課 内2102 ☎463-0374

※関東・水と緑のネットワーク拠点百選…社団法人関東建設弘済会が、自然と共存した持続可能な地域づくりを進める活動を応援するために実施している事業で、第4回で選定された11件を含め、これまでに62件が選ばれています。

📷 AED 知って学んで 助かる命 ～救急車適正利用啓発ポスター～



9月3日(月)、救急車の適正利用啓発ポスター用図画および救急業務に関する標語の表彰式を埼玉県南西部消防本部で行いました。ポスターは125点の応募があり、最優秀賞に埼玉県立朝霞西高等学校3年の岩田真歩さん(写真：中央)、特別賞(朝霞地区医師会長賞)に朝霞市立朝霞第二中学校3年の杉山陽菜さん(写真：左から3人目)の作品が選ばれました。最優秀作品は、ポスターとして印刷し、

朝霞・志木・和光・新座市内の医療機関および公共施設に掲示されます。

また、救急業務に関する標語には、15点の応募があり、和光市在住の薮内恵子さん(写真：右から3人目)の「AED 知って学んで 助かる命」が最優秀作品に選ばれました。

📷 あさか見て歩き

宮戸地区にある斜面林とその下の農道沿いに水田が広がる風景は、今でも里山の雰囲気を残しています。

多摩川から取水され、玉川上水を経て朝霞市内まで流れ下り、農地を潤していた野火止用水の跡もかすかに残り、緑地には武蔵野に伝わる草木が季節に合わせて花を咲かせます。

水田では、朝霞第七小の児童たちにより、春の田植えと秋の稲刈り(写真：今年は9月6日(木))が行われました。

提供/あさか環境市民会議



「はい! ポーズ」は6歳未満のお子さんの写真を掲載しています。掲載ご希望の方は、市政情報課にお問い合わせください。
☎/市政情報課 内2343~4
☎463-3059
FAX 467-0770(代表)

内閣府の平成24年度版、子ども子育て白書にのった塩味健一郎です。
塩味 健一郎ちゃん(1歳6か月)

